

地震に対する備えはできていますか？

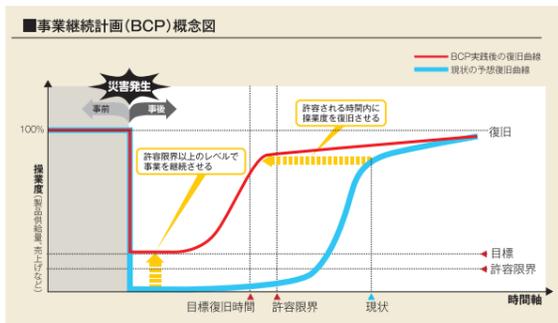
東海地方では、東海、東南海、南海地震と呼ばれるプレート境界型の地震が起きるといわれています。特に東海地震は、前回の発生(1854年)から150年以上も経過し、いつ発生してもおかしくない状態です。今後30年以内に88%の確率で起きるといわれています。従業員の安全、お客さまへの安心などを考えると、中小企業でも待ったなしの対応が迫られていると言えます。貴社では地震に対する備えはできていますか？

百五総合研究所では、経験豊富なコンサルタントによるBCP策定支援や、耐震診断などのメニューを取り揃え、中小企業のみなさまの地震防災力強化に努めています。

BCPとは

BCP(Business Continuity Plan)とは、事業継続計画のことです。企業が地震などの災害で被害を受けても、自社にとって**重要な業務を(なるべく)中断させず**、また重要業務が中断した場合でも、**できるだけ早く復旧させることを目的**として作成する計画のことです。

前もって何も計画を立てていないと、復旧にも非常に時間がかかり、場合によっては復旧できずに廃業に追い込まれることもあるでしょう。BCPに取り組むことによって、**災害直後のダメージを少なくし、また少しでも短い時間で復旧させる**ことが可能となります。



資料：内閣府「事業継続ガイドライン」よりNPO法人事業継続推進機構が一部修正

BCPに取り組むメリット

中小企業がBCPに取り組むメリットには、事業を速やかに再開できるという直接的なメリットだけでなく、次のような社外的、社内的なメリットもあります。

社外的なメリット

- ステークホルダーへの防災・危機対応への「説明責任」が果たせる
- 顧客・取引先からの安定供給の要請に応えることができる
- 地域貢献やCSR活動としても評価される

社内的なメリット

- 自社にとって重要な業務や資源を再認識できる
- BCP策定を機会に業務の標準化や効率化を行うことができる
- 全社的な情報共有が図れ、現場の経営への参画意識が高まる

サービス内容のご案内

よく「どこまでやったらよいのか分からない」といったご相談をいただきます。これに対する答えは、「最初から完璧を求めない」ということです。新たな仕組みを定着させるためには時間がかかるものです。せっかくのBCPも実効性の伴わないただの計画に終わってしまっは何にもなりません。

弊社では、中小企業でも無理なく進められるようにコンサルティングさせていただいております。まずはご連絡ください。

BCPキックオフ研修

BCPとは何かを従業員のみなさまにご理解していただくための研修です。
標準所要時間：1時間

BCPコンサルティング

弊社コンサルタントが直接貴社を訪問しコンサルティングを行います。防災対策と簡易的な地震BCP策定のコンサルティングの場合、コンサルティング期間は約6ヶ月を目安にします。

BCP訓練、演習

作り上げたBCPを用いた机上訓練や、様々な状況(シナリオ)をリアルタイムに提示して進める災害対策本部演習などで、従業員の参画意識やBCPの実効性を高めます。
訓練に用いるシナリオは貴社のオリジナルなものを作成することも可能です。

防災関連商品の斡旋

災害時の通信手段・安否確認システムといったコミュニケーションツールや、救出用機材・備蓄品などの防災関連商品について、貴社のご要望に合わせた商品選定や斡旋を行います。

生産設備耐震診断

生産設備や付属配管・ダクト類などの耐震性を判断する目的で行う調査です。調査結果は、耐震診断危険度評価や耐震対策のリコメンドなどを報告書にまとめるとともに、別途診断報告会を開催し詳しくご説明いたします。



耐震診断調査結果のイメージ

ISO22301 認証取得支援

国際規格であるISO22301を活用した事業継続マネジメントシステム(BCMS)の構築や、認証取得に向けた支援を行います。

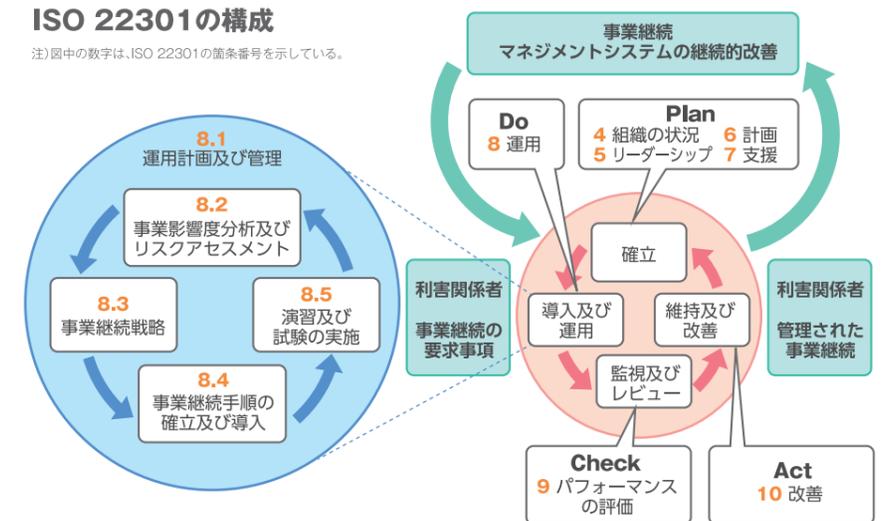
ISO22301を活用して地域連携BCPに取り組みました！

弊社では2013年に経済産業省より受託(※)し、尾鷲地域の中小企業による地域連携BCPの策定支援を行いました。尾鷲商工会議所とその有志会員企業4社がISO22301を活用したBCMSに取り組み、自社の経営力や競争力の強化につなげることができました。

※事業名：事業継続等の新たなマネジメントシステム規格とその活用等による事業競争力強化モデル事業(グループ単位による事業競争力強化モデル事業)

ISO 22301の構成

注) 図中の数字は、ISO 22301の箇条番号を示している。



BCPコンサルティングの進め方

「防災対策と簡易な地震BCP策定のケース」を例にご紹介します。

●コンサルティング方式

- 弊社コンサルタントが貴社を訪問します。
- 貴社内にBCPプロジェクトチームをお作りいただきます。
- 貴社のBCPプロジェクトチームに対して次の作業を行います。
 - 1.弊社提供ツールを用いて地震BCPの作成方法を説明、アドバイス
 - 2.貴社の作成したBCP帳票、手順に対するコメント、提案

●時間・回数

- 訪問回数6回
 - 1回当たり2時間を予定しています
- *コンサルティング期間:6ヶ月

●策定内容(案)

- 想定災害の整理●代替連絡先の確保●災害直後連絡先の整理
- 緊急時の対応体制と指揮命令系統の整備●緊急時安否確認と社内緊急連絡網の整備
- 避難誘導方法の検討●二次災害防止策の検討●緊急用機材・備蓄品の確保
- 重要情報の整理とバックアップの検討●建物設備の安全確認と耐震対策の検討
- 重要業務の確認●簡易手法による目標復旧時間の設定
- 基本方針とBCP策定体制の整備●リスクの評価と被害の想定
- 重要業務の制約要素と資源の把握●重要業務に必要な資源の代替調達の検討
- 情報・通信システムの途絶リスクの把握と対策
- 拠点・設備等の代替性の確保の検討●地域との協調・地域貢献の検討 など

Business Continuity Plan 事業継続対策は 大丈夫ですか？

百五総合研究所のBCPコンサルティングご案内

問い合わせ先

HRI 株式会社
百五総合研究所

本 社

〒514-8666 三重県津市岩田21番27号
TEL (059)228-9105 FAX (059)228-9380
URL <https://www.hri105.co.jp>
E-mail info@hri105.co.jp

名古屋事務所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目26番13号 ちとせビル5階
TEL (052)581-7608
または、最寄の百五銀行本支店へご相談ください。